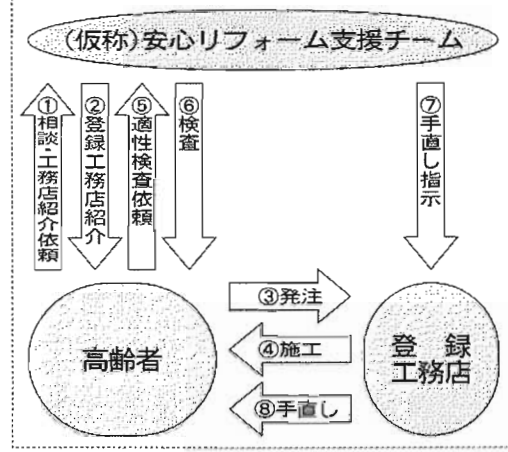


悪徳業者から高齢者を守る

相談、検査、手直し指示まで

曾於市と同市社会福祉協議会、県住宅・建築総合センターは9日、横断する悪質リフォームから地域の高齢者を守るべく、「曾於市安心リフォーム推進協議会」を発足させた。写真。リフォームに関する

曾於市、県住宅・建築総合センター等



木造住宅耐震技術講習会

17日まで受付

県と県住宅・建築総合センターは17日午後1時15分から、鹿児島市の曾於市県民交流センターで木造建築技術者向けに「木造住宅耐震技術講習会」を開く。定員は先着320人で、受講料は無料。申し込みは17日まで受け付ける。受講資格は、①建築士法第2条に定める1級・2級・木造建築士②木造住宅の建築に關して7年以上の実務経験を有する者など。申し込み、問い合わせは、同センター企画課(099・224・4543 FAX226・3963)まで。

18、19日、鹿児島市で

鹿島リコー(株) (久永修平社長)は18、19日の2日間、鹿児島市の曾於市県民交流センターで「新春リコーソリューションショウエイ2007鹿児島」を開く。

鹿銀の県内景況

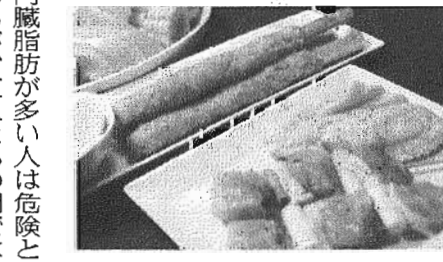
2カ月連続で前年上回る

鹿児島銀行はこのほど、最新の県内景況を発表した。総括では「生産活動は回復基調にあるものの、個人消費や観光関連は盛り上がり欠き、全体では足踏みが続いている」と報告。投資関連は「公共工事、住宅着工ともに前年を上回った」とまとめた。

最近の県内景況を公表した。総括では「生産活動は回復基調にあるものの、個人消費や観光関連は盛り上がり欠き、全体では足踏みが続いている」と報告。投資関連は「公共工事、住宅着工ともに前年を上回った」とまとめた。

鹿島リコー(株) (久永修平社長)は18、19日の2日間、鹿児島市の曾於市県民交流センターで「新春リコーソリューションショウエイ2007鹿児島」を開く。

「メタリックシンドローム」で、ちよっと聞いただけではわかりにくい、が、「内臓脂肪症候群」と書けばわかりやすい。肥満症や高血圧、高脂血症、糖尿病などの生活習慣病は、それぞれが独立した別の病気ではなく、肥満が原因。それも特に内臓脂肪型の肥満が原因であることがわかって来た。この状態のまま放置してしまえば、病気が引き起こされやすくなっている状態を「メタリックシンドローム」と呼んで、治療の対象として行こうというこのよつだ。見た目ではやせていても内臓脂肪が多い人は危険というところもあるが、友人たちの間では見た目がかなりの肥満な人間を「ヘビメタ」(ヘビーなメタボ)と呼び、そんな人間たちを「コレステロールラズ」と呼んで笑っていたが、新年明け、軽い心筋梗塞で倒れたと、知人二人から受けて驚いた。どちらも命には別条なかったが、一歩間違えばという状態だったらしい。まだ50代の働き盛り。見た目では肥満ではないが、やはり「内臓脂肪」を落さないといけない。と、かなりショックを受けていた。後悔先に立たず。きょうの一步が大切と自覚しなければ。



「ISOを取得したいが、どうしていいかわからない」「今後維持していきたいが、回っていかない」などISOの悩みは多いが、鹿児島県の資格審査基準で加点されるなど影響も大きいのも事実だ。

舞システム企画

無料でISO講習会&相談会

22日、曾於市
26日、鹿児島市
講習会・相談会は、1月22日は午後5時30分から曾於市大隅町の大隅中央公民館、1月26日は午後6時30分から鹿児島市の曾於市県民交流センターで開く。費用や期間については、曾於市県民交流センターで相談を受ける。詳細については、同センター企画課(099・224・4543 FAX226・3963)まで。

15日まで受け付け
住宅性能保証制度登録業者講習会
住宅性能保証機構は23日午後1時30分から、鹿児島市の曾於市県民交流センターで講習会を開く。受講申し込みは15日まで受け付ける。講習内容は、①本県の住宅性能保証制度登録業者講習会を開く。受講申し込みは15日まで受け付ける。

19日、合同新年会
県ビルメン協組・県ビルメン協会
県ビルメンテナンส์協同組合(川畑英樹理事長)と県ビルメンテナンส์協会(野元一喜会長)の合同新年会を開く。

来月2日、安全パト
県港湾漁港建設協会
県港湾漁港建設協会(植村久会長)は2月2日、鹿児島市地区(鹿児島港中央工区・人工島)および指宿地区(山川漁港・川尻漁港)で18年度第2回安全パトロールを行う。

知得? いまどき 葉の言

「メタリックシンドローム」で、ちよっと聞いただけではわかりにくい、が、「内臓脂肪症候群」と書けばわかりやすい。肥満症や高血圧、高脂血症、糖尿病などの生活習慣病は、それぞれが独立した別の病気ではなく、肥満が原因。それも特に内臓脂肪型の肥満が原因であることがわかって来た。この状態のまま放置してしまえば、病気が引き起こされやすくなっている状態を「メタリックシンドローム」と呼んで、治療の対象として行こうというこのよつだ。見た目ではやせていても内臓脂肪が多い人は危険というところもあるが、友人たちの間では見た目がかなりの肥満な人間を「ヘビメタ」(ヘビーなメタボ)と呼び、そんな人間たちを「コレステロールラズ」と呼んで笑っていたが、新年明け、軽い心筋梗塞で倒れたと、知人二人から受けて驚いた。どちらも命には別条なかったが、一歩間違えばという状態だったらしい。まだ50代の働き盛り。見た目では肥満ではないが、やはり「内臓脂肪」を落さないといけない。と、かなりショックを受けていた。後悔先に立たず。きょうの一步が大切と自覚しなければ。